

シグマ研究／専門委員会核データ情報／評価専門部会
弾性・非弾性散乱 W.G 会議事録

日 時 昭和 45 年 6 月 23, 24 日 (火, 水)

場 所 原研東海研第 5 会議室

出席者 神田, 中村, 山越, 金森, 村田, 松延, 五十嵐

収集したデータのまとめ作業を集中的に行なった。各自収集したデータについて所在図の作成、文献アブストラクトの作成を行なった。

まとめの形式は

1. 序 文
2. 調査範囲
3. 所 在 図
4. 文献アブストラクト
5. グラフ
6. 数値データ表
7. 文献 レファレンス

とする。グラフは統一した用紙 (180 mm × 250 mm) を使う。所在図はほぼ出来たが、文献アブストラクト及び NEUDADA とのつき合せを行なった後で提出する。

数値データは NEUDADA に入っていないものを表にして提出する。

NEUDADA に入っているものはプロッターを使ってグラフ化すると同時にテーブル化もする。3, 4, 5, 6 の提出期限は 7 月 10 日とする。

次回はこの結果を見て決める。